

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	宮崎県	市町村名	のべおかし きたかたちょう 延岡市(北方町)	地区名	かわずる くぼやま 川水流・久保山地区	面積	300 ha
計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度				

目標

大目標 中心地の交流拠点整備と交通アクセスの改善とによる地域活性化の創造

目標1	旧町中心地においてメインストリート整備を行うと共に地域文化体験交流施設を整備することにより、地区内外からの利用者の交流による賑わいの再生、各地域の情報の発信を保有することで、旧町全体の活力を誘導する。
目標2	自然環境に配慮した公園の整備により、都市との交流による地域づくりを推進する。
目標3	中心地への交通アクセス、交通の安全性・快適性の向上を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・旧北方町は、昭和25年をピークに人口が減少し、近年、少子高齢化社会が急速に進行している。特に山間部においては小学校が廃校するなど地域活力の低下が懸念される深刻な状況である。こうした中、中心部においては住宅環境、医療・福祉、文化拠点施設が集中しているものの、交通環境の未整備等により移動時間を要し生活機能に格差が生じている。
- ・当地区は、清流五ヶ瀬川が貫流する地区であり、秋になると鮎やなが架けられる観光資源豊かな地区である。また、旧延岡市と近隣に位置することや熊本県と県北地域を結ぶ幹線道が横断していることからから交流人口は見込まれる環境にあるが、核となる交流施設が存在しない。
- ・平成5年の台風により役場が床上浸水するなど多くの町民が甚大な被害にあった。このような大きな災害に対応できる安心安全な避難場所が不足している。
- ・平成12年に策定された北方町長期総合計画において、(計10回(委員20名))魅力ある中心地としての町並みの形成、人的交流による活性化及びこれに伴う交通環境の改善が示されている。
- ・総合計画を受け中心地活性化の検討に入り、魅力ある商店街づくりの推進、産業振興及び観光振興を通しての特産品の開発、これらに関連したまちづくりの推進方策について協議された。
- ・地域活性化委員会が中心となり、活力あるまちづくりを推進するため、住民参加と公民協働のまちづくりに関する取り組みが継続されており、各種イベント等(ロードクリーン作戦:15年度1回、花のあるまちづくり活動:15年度2回、イルミネーションの設置:15年度1回(20日間)、フェスティバルの開催:15年度1回)への住民参加が促され、「積極性」「主体性」「連帯感」といった気運が高まっている。
- ・まちづくり計画の策定にあたり、上記の地域活性化委員会をベースとして地域住民(中学生以上)を対象としたアンケート調査や公民館単位、学校、商工会といった各種団体とのワークショップを開催し、計画の内容や実現性等について協議、提案を行った。

課題

- 中心地の再生は、本町の活性化を左右することから、中心地までの交通環境の改善と、自然と融和した高質空間の整備により地区内移動の円滑化及び快適性の向上に向けたまちづくりが課題である。
- (1)総合支所、病院、商業施設が集中している中央地域への交通アクセスが不便であり、市民の生活向上や安心で安全な交通環境を確保するためには、道路環境整備を図る必要がある。
  - (2)メインストリートは総合支所、病院、商業施設といった重要な施設が集中しているが、交通安全面の問題が多く、景観も優れない。市民や観光客等がゆっくりと回遊できる町並みづくりが必要である。
  - (3)急峻な地形により平地が極めて少ないため、市民の多目的な活動や災害時の避難場所、イベント等で利用できる広いスペースを確保できる、安全・安心な空間整備が必要である。

将来ビジョン(中長期)

豊富な自然環境の中で、中心地域としての機能が発揮でき、市民と観光客が融合できる中央地域の形成

- ・当地区は、第四期北方町長期総合計画では、「活力と思いやりのあるまちづくり」として、快適性、利便性を創造できる魅力ある商業等の振興地域として位置づけられている。
- ・中心地活性化計画において、「快適性、利便性を目指す交通網の推進」「癒しの空間づくりと活性化の創出」「防災スペースの確保」が重点的整備として位置づけられ、中心地を核とした活性化計画があげられている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
				基準年度	目標年度
1. 交流施設入込客数	人	施設利用者及び・交流人口の実数	整備される拠点施設(地域文化体験交流施設)の利用者、交流人口の数の増加	0	1,150
2. 利用団体数	団体・年	施設利用団体数の実数	北方インター公園整備後の利用団体数	0	60
3. 道路環境整備の満足度	ポイント	道路利用者による道路環境の満足度(5段階評価)(満足度アンケートによる)	5段階評価とし、3を従前値とし1ポイント上昇させる。	3	4
4. まちづくりに関する満足度	ポイント	地区内住民を対象に事業を実施したことによるまちづくりに関する満足度を調査(5段階評価)(満足度アンケートによる)	5段階評価とし、3を従前値とし1ポイント上昇させる。	3	4

都市再生整備計画の整備方針等(変更後)

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針1(中央地区の一体感を重視した基盤整備により、旧町内全域の活性化の誘導)</p> <p>・中央地区の賑わい再生のため、メインストリート(川水流中央通り線)の景観を重視する道路改良を行い、通行者の安全確保を図る。</p> <p>・中心地の活性化の誘導により商業、農林産業の振興が一体的に向上することが見込まれることから、新商品の開発及びマーケティングを実施する。</p> <p>・中央地区を利用した地域文化(干支の陶芸)の体験、情報発信機能を備えた地域文化体験交流施設を整備し、地域内外の人の交流を促進する。</p>	<p>・川水流中央通り線の改良(基幹事業)</p> <p>・干支の陶芸わくわく交流事業(提案事業)</p> <p>・地場産品を活かした新商品の開発(提案事業)</p> <p>・花のある町並みづくり整備事業(提案事業)</p>
<p>・整備方針2(自然環境と融和した癒しの空間づくり)</p> <p>・延岡～北方道路整備に伴う広域な広場の整備により、災害等の避難箇所を兼ねた公園を整備する。</p>	<p>・北方インター公園の整備(基幹事業)</p>
<p>・整備方針3(交通環境の改善)</p> <p>・延岡～北方道路整備の整備により、山間部から中心地への車の流れが変化することから、交通の安全性を確保するため、市道川水流うそ越線(改良拡幅)を整備する。これにより、中心地への交通時間コストが省力化され、中心地の活性化が促される。また、通学路としての交通安全が図られる。</p>	<p>・川水流うそ越線、柳瀬下渡線、東原線の道路改良(基幹事業)</p>

その他

◎事後評価の実施について

平成21年度が当該交付金事業の完了年度となるため、まちづくりの目標の達成度を検証するために、実施事業に関する満足度やその他どのような効果が得られたかなどを検証する「事業効果分析調査」の実施及び「延岡市広報公聴会議(まちづくり交付金評価委員会)」を開催し、事後評価を行う。



かわずる くぼやま みやざき のべおかし  
川水流・久保山地区(宮崎県延岡市) 整備方針概要図

目標	中心地への交通アクセスの改善と交流拠点整備による地域活性化の創造	代表的な指標	交流施設入込客数 (人)	0 (平成20年度) → 1,150 (平成21年度)
			利用団体数 (団体・年)	0 (平成16年度) → 60 (平成21年度)
			道路整備環境の満足度 (ポイント)	3 (平成16年度) → 4 (平成21年度)

